

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	サポート大手町				公表日	R8年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		運動コーナーと作業コーナーを分け、施設の充足度を上げています。	小集団での生活空間を提供しており、特性に応じスペースを管理しています
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適切。個別対応が必要な子に支援スキルに応じた職員配置ができています	今後も施設基準に沿って運営して参ります
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		スペース分けを行い落ち着く環境を用意できている	玄関スペースに段差があるため、できるだけ動線を広く環境上の配慮を意識を向けて参ります
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		床がマット素材のため転倒時衝撃の吸収が良い。毎日の清掃が行き届き清潔を保っている	空気感染などの感染症予防も視野にいれ、換気・拭上げの洗浄を行います。季節に応じた環境調節ができています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	カーテンでの仕切り素材の高、臨機応変に対応可能	今後も臨機応変な対応を心がけて参ります
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		活動計画に対する振り返りを行いPDCAサイクルによるスキルアップが出来ている	日々職員会議の中でPDCAによる協議を重ねています
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者との交流をまめにし、ニーズに合った支援を行っている	変化する課題に柔軟に対応しています
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		話しやすい空気感を作っている	報告・連絡・相談を密に行い、業務改善に努めています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			外部評価を周知し業務改善に邁進して参ります
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内外部の研修に参加させてもらっている	年間を通して研修を行い、職員のスキルアップに努めています
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		それぞれの子どもに合った支援プログラムが作成・公表されている	できるだけ個々の特性に合った内容の支援プログラムを作成・公表していきます
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		定例会議を行い、個々の特性に応じた計画の元にすすんでいる	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		都度支援会議を行い、有識者を交えた意見交換で療育内容の向上に努めている	引き続き共通理解の下運営して参ります
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		分かりやすく説明してくれる	都度支援会議を行い、計画内容の共有を行っている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々変化する児童の状態や環境を頻繁に把握している	今後とも安全第一の共有理解の下、丁寧なアセスメントを行います
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		適切な支援内容が設定されていると思う	関係機関との連携を行い、個別に応じた具体策を提供していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		当番決めを行い、チームで立案を行っている	発達に合った支援内容を立案している。有識者を交えそれぞれの立場から意見できるような環境を作っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		個別・集団の幅がないよう、バランスを考えている。	粗大・微細などの運動バランスにも気を配り、固定化しないように工夫をしています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		それぞれの子ども達の発達に応じてプログラムを作成している	適切な支援計画を作成し共有することで、療育内容の向上を目指しています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝・昼のミーティングを行いチームで連携して行っている	引き続き、密な連携を行い安全に療育して参ります
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		振り返りを重ねることで、療育内容の向上に努めています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		写真や文字で記録している。筆記の紙媒体も使い検証・改善に努めている	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		日々変化する状態を見極め、計画の見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		参画している	連携をとり、児童の困りごとについてサポート
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		保育園や小学校・併用先の施設と連携をとり、常に情報共有をはかっている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		必要な事案では専門的な知識の助言を受け、児童の安全や療育内容の向上を目指しています	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	地域の子どもや福祉施設の児童と公園などで活動する機会がある	法人内の児童とは交流する機会があります。今後地域の園などとイベントを共有していきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		メールやアプリ・電話などで頻りに連絡をとっています。常に状況や課題について共有理解を深めています	今後も密な連携を行っています
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		研修の機会を設けていきます	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	運営規程を説明し、随時支援プログラムの説明を行っています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		保護者さんの要望も合わせて常に支援の方向性が間違わないように心がけています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		説明をしながら同意を得ています。不明な点においては丁寧に説明しています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的な面談と合わせて随時必要に応じた相談時間を設定しています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		保護者の需要に合わせた機会の開催を検討しています
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速に相談や報告を行っている	今後も密な連携を行って行きます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期的にHPを公表している。アプリを使って個別に公表している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		視覚・聴覚を使い個別に認識できる方法で配慮を行っています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	できるだけ時間を設け参加している	地域住民との交流を行って行きます
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		定期的に訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		作成し共有している	今後も定期的な訓練を行って行きます

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	壁面に対処方法を提示し、常に確認できる環境を整えている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	該当児童なし	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	必要な訓練や研修を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	常に家族と連携を密に行い、安全確保に努めている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	書式に記入し、職員と共有することで再発防止にむけている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	虐待防止の研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	計画に明記している	